

2026 年 4 月 6 日

沖縄県がん診療連携協議会

幹事会委員各位

幹事長

増田昌人

### 今年度の連携協議会の審議事項のその後について

<令和 7 年度第 1 回連携協議会（5 月 9 日開催）>

審議事項 1 「第 4 次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の進捗状況について  
（ベンチマーク部会）

➡令和 7 年度第 4 回協議会において、中間評価をしていくことが決議された。

審議事項 2 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん種ごとの診療目標について（離島・へき地部会）

天野委員より、特に地域で実際に医療を受ける患者さん、ご家族の方の理解を得ていただくことが重要、患者会には個別に説明が必要。

2025 年 7 月 18 日、19 日にかけて、北部医療圏に対して、①名護市の渡具知市長、健康増進課長ら 4 名に対して、北部医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（オストミー協会やんばる友の会の会長以下 3 名）に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会を行い、北部医療圏における診療目標を説明した。

2025 年 8 月 22 日、23 日には宮古医療圏に対して、①宮古島の砂川副市長、市民生活部長ら 4 名に対して、宮古医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（まんま宮古、ゆうかぎの会）の 4 名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会（参加者 43 名、新聞社 3 社）を行い、宮古医療圏における診療目標を説明した。

2025年11月21日(金)、22日(土)には八重山医療圏に対して、①市民保健部長、保健福祉センター長に対して、八重山医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会(ナネーズ・ナネーズslow・やいまゆんたく会)の7名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会(参加者35名)を行い、八重山医療圏における診療目標を説明した。

➡その後は、特になし

### 審議事項3 「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しについて(医療部会、ベンチマーク部会)

(1) 令和7年度第1回連携協議会(以下、協議会)、資料11-3について、天野委員より、厚労省の文言にならば、6(1)に「心理的な障壁を取り除くことができるよう留意すること」を追記していただきたい、また、5に「遺伝カウンセリングを行う体制を有すること。それが難しい場合は、他の遺伝カウンセリングを有する医療機関と連携する体制を整えること。」の文言を追記していただきたいとの意見があった。

『「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件』において、上記委員の意見の通りに修正を行った。

(2) 令和7年度第1回協議会、資料11-5について、松永委員より、胃がんの外科的治療は12例以上ということだが、ハイボリュームセンターの件数は、30例以上(※第1回協議会資料、P568参照)となっていることについて指摘があったため、件数について、ワーキングの方で再検討することとなった。

胃がんWGで再度検討し、12例から15例にした。

(3) 令和7年度第1回協議会資料、11-8について、戸板委員より日本放射線腫瘍学会認定施設Cとあるが、AとBも条件を満たしているため、Cの文言は記載なしで良いのではとの意見があり、そのように修正することとなった。

上記委員の意見の通りに修正を行った。

### 審議事項4 各市町村に対する「若年がん患者等支援事業」への参加の働きかけについて(小児・AYA部会、離島・へき地部会)

(1) 原案通り、承認された

➡現在、この制度を導入していない34市町村に対して、依頼文書を送付した。

(2) 玉城先生よりメディアをいれて発信した方が良いのではとの意見があり、発信方法

について検討することとした。

➡2026年3月19日の第4回小児・AYA部会において検討したが、特に妙案は出なかった。

<令和7年度第2回連携協議会(8月1日開催)>

#### 審議事項1 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について

(1) 報告:「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の概要 (ベンチマーク部会)

➡報告事項なので、特になし

(2) 審議:医療機関の集約化と分散化に関する協議会の今後の方針 (医療部会)

➡修正意見はなかったので、特になし

(3) 審議:選定条件の見直し期間の短縮について(提案) (医療部会)

➡原案通り可決された。

2025年8月27日付けで、連携協議会鈴木幹男議長から沖縄県保健医療介護部糸数公部長に、提案書(琉大西総第309号)を送付した。

2026年1月15日に、沖縄県保健医療介護部糸数公部長から、連携協議会鈴木幹男議長に文書(保健第434号)が送付された。連携協議会の提案通り、今後は3年ごとに掲載要件の見直しを行うことになった。

(4) 審議:選定された医療機関に患者を集約するために行うこと(提案) (医療部会)

➡修正意見はなかったが、いくつかの関連分野も含めてのご意見や情報提供があった

◎天野委員から、①医療機関名の公開だけでは患者はイメージがわからないので、「広島県がん医療ネットワーク」の模式図等を参考に分かりやすく周知をした方がよいとのご意見、②東北大学病院のMRリニアックの導入によりへき地の患者の負担が軽減できた事例の紹介

➡①については、連携協議会事務局で検討し、広報の際の参考にいたします。②については、医療部会と離島・へき地部会へ紹介します。

◎西原委員から、離島の外科医療を、がんだけでなく救急医療や非がん患者に対する外科医療も含めて、今後も広く議論をしていってほしい。

➡この点については、今後も医療部会と離島・へき地部会で議論を継続していきます

◎田名委員代理の玉城医師から、離島医療、特に県立宮古病院と八重山病院の医師の充足について、沖縄県医師会の今後の方向性の報告があった

➡今後、医療部会と離島・へき地部会で報告します

#### <決定事項のその後>

1 検診後の精密検査等を行っている医療機関に対して、「がんと診断した場合は、選定された医療機関へ紹介を促す」依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026年1月16日に、対象の83医療機関に送付した。

2 県内のすべての医療機関に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ことを理解していただくための依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026年2月2日までに対象の801医療機関に送付した。

3 県内医療機関でがんの相談支援を行っている部署に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ということを理解してもらえるように、年に数回ある研修会において、研修に組み込んでもらう。

➡2026年3月19日に、県内のがん相談や地域連携に携わっている看護師と医療ソーシャルワーカーを対象に研修会を行った。(資料7-2)

4 沖縄県民に対して、

(1) 毎年発行している「おきなわ がんサポート ハンドブック」において、選定された医療機関への受診を促すような文言修正を行い、受診を促す

➡がん診療を行う医療施設一覧のページに、「まずはこれらの施設での診療をおすすめします。」の一文を加えた。(今年度版を配布)

(2) 各地の患者会に対して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡北部医療圏：オストミー協会やんばる友の会

宮古医療圏：まんま宮古、ゆうかぎの会

八重山医療圏：ナネーズ、ナネーズ slow、やいまゆんたく会

の6団体に対して説明を行った。

(3) リレー・フォー・ライフ・ジャパンの開催時に出店して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡リレー・フォー・ライフ・ジャパンに参加した方々に説明を行った。

**(5) 審議：「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件について（修正案）**（医療部会）

◎埴岡委員から、臨床試験等に対する積極的な情報提供をしていることを要件に入れたほうがよいとのご意見

➡体制整備の要件の7「がん遺伝子パネル検査（がんゲノムプロファイリング検査）」と8 臨床試験及び治験の項目に、積極的な情報提供の条件を追加した（令和7年度第2回協議会の審議事項1（5）で報告済）

**(6) 審議：がん種ごとの選定条件**（①脳腫瘍（脳・中枢神経系）、②頭頸部（口腔/咽頭/喉頭/鼻腔・副鼻腔/唾液腺）、③甲状腺、④食道、⑤胃、⑥大腸、⑦肝臓、⑧胆道（胆のう・胆管）、⑨膵臓、⑩肺、⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑬乳房、⑭婦人科がん（子宮頸部、子宮体部、卵巣）、⑮泌尿器がん（前立腺、腎、膀胱）、⑯血液腫瘍、⑰小児がん、⑱AYA世代のがん、⑲希少がん、⑳遺伝性腫瘍）  
（ベンチマーク部会）

◎平良孝美委員より、認定看護師の名称の間違いの指摘があった。

➡がん薬物療法認定看護師を、がん化学療法看護認定看護師またはがん薬物療法看護認定看護師に変更しました。

◎銘苅桂子 小児・AYA部会副部長（陪席）からは、小児がんの要件に、妊孕性温存の項目を入れたほうがよいとのご意見

➡小児がんWGおよびAYA世代のがんWGで議論を行いました。その結果、小児がん分野では既に行われているので選定要件には入れない、AYA世代のがん分野では重要なので選定要件に入れるということになった。

**審議事項2 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について**  
(ベンチマーク部会長)

⇒特に協議はなかったなので、対応は特になし

<令和7年度第3回連携協議会(11月7日開催)>

**審議事項1 病棟における学齢期の入院患者へのWi-Fi無料開放について(要望)**(小児・AYA部会)

原案通り可決された。

⇒2026年2月からは、Wi-Fi無料開放を行っている。

**審議事項2 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について**(医療部会)

原案通り、可決された。

2026年1月19日に、連携協議会鈴木幹男議長から、沖縄県保健医療介護部系数公部長に、報告書を送付した。

**審議事項3 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について**  
(ベンチマーク部会長)

⇒特に協議はなかったなので、対応は特になし

<令和7年度第4回連携協議会(2月6日開催)>

**審議事項1 周術期における口腔機能の管理について(沖縄県歯科医師会)**

⇒原案通り可決された。

2026年3月5日に、連携協議会鈴木幹男議長から、がん診療を行っている医療機関24施設に、要望書を送付した。

審議事項2 「第4次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の中間評価について(ベンチマーク部会)

➡原案通り可決された。

➡令和7年度第4回協議会以降に開催された専門部会において、順次中間評価に関する協議を始めている。



# 令和7年度第2回がん相談従事者研修会

## 沖縄県のがん医療の集約化・均てん化に関する今後の展望

2026 **3 / 19** **木** 17:30~19:00  
(受付開始17:00)

参加費無料  
要申込

オンライン研修

### プログラム

17:30~18:30

がん医療の集約化を進めるための  
がん相談支援センターの役割

琉球大学病院 がんセンター長  
増田昌人 先生

18:30~

質疑応答

2025年8月、厚生労働省より都道府県に対して、2040年を見据え、がん医療の均てん化・集約化の検討および必要に応じた集約化推進に関する通知が発出されました。

本研修では、沖縄県のがん医療提供体制と集約化の現状を学び、今後の患者支援・情報提供の在り方についてお話いただきます。

### 対象

がん相談に携わるMSW・看護師等  
地域連携業務に携わる方  
がん診療を行う医療施設に所属する医療従事者

### お申し込み

申込締切  
3/16(月)正午

専用フォームから  
お申込み下さい



## 2025年度第2回がん相談従事者研修会 開催要項

2026年2月5日現在

### 1. 研修概要

日時：2026年 3月19日（木）17:30～19:00

開催方法：オンライン（ZOOM）

研修名：令和7年度第2回がん相談従事者研修会「沖縄県のがん医療の集約化・均てん化に関する今後の展望」

対象者：がん相談に携わるMSW・看護師等の医療従事者、地域連携業務に携わる方、  
がん診療を行う医療施設に所属する医療従事者

参加予定者：50人程度

参加費：無料

主催：沖縄県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会、琉球大学病院がんセンター

申し込み方法：申込専用フォームより受付。（3月16日（月）正午 〆切厳守）

<https://forms.gle/2zNHixyH5y4cpvVm6>

その他：受講証の発行はありません



### 2. 研修目的

- ・沖縄県の地域医療における医療機能の集約化と分散化に関する展望を学ぶ。
- ・がん医療の集約化について理解を深め、患者さんへ適切に情報提供できるようになる。

### 3. 学習（到達）目標

- ①沖縄県の地域医療におけるがん医療提供体制を理解する。
- ②医療機能の集約化・均てん化に関する検討課題を認識する。
- ③相談者に対し医療提供体制に即した情報提供が行えるようになる。

### 4. 講師・スタッフ

講義：「がん医療の集約化をすすめるためのがん相談支援センターの役割について」

講師：増田昌人（琉球大学病院 がんセンター長）

全体司会：大久保礼子（琉球大学病院）

閉会挨拶：友利晃子（情報提供・相談支援部会長・琉球大学病院）

運営スタッフ：大久保

### 5. プログラム

17:00～	受付
17:30～18:30	講義
18:30～18:45	質疑応答
18:45～	閉会挨拶、アンケート記入、

### 6. 費用

講師謝金・旅費、会場費： 琉大病院規定により支出

## 7. 申込フォーム内容

本研修へのお申込みありがとうございます。

\* 下記の項目をご記入の上、送信ボタンを押してください。申し込みが正常に完了したらメールが自動返信されます。

-----  
メールアドレス入力：(このフォームでは回答者のメールアドレスを収集しています。)

1. お名前 \*
2. ふりがな \*
3. 所属施設名 \*
4. 部署名 \*
5. 連絡先 \*
6. 職種 (資格) \*  
看護師・社会福祉士・事務職・その他 (            )
7. 現在の職種での経験年数 \*  
1～5年未満・5年以上
8. がん相談支援業務へ従事状況  
なし・専従・専任・兼任・その他 (    )
9. 受講申し込みのきっかけや動機を教えてください。  
業務上、必要性を感じたため・スキルアップや自己研鑽のため・参加するよう誘い指示があったため・テーマに興味関心があるため・その他
10. 講師にご質問がありましたらご記入ください。
11. その他、連絡事項がありましたらご記入ください。

送信

-----  
記入したメールアドレスに自動返信が届いているか確認してください。しばらくたっても返信がない場合は、メールアドレスの記入が間違っている可能性があります。その場合はお手数ですが申込をやり直してください。